

江東大会 大会規定及び注意事項《中学》

1. 試合回数 7回戦とする。日没・降雨時の試合成立回数は5回終了時とする。
2. 試合時間 1時間45分とし、以降新しいイニングに入らない。
3. コールドゲーム 4回10点差以上、5回以降7点差以上とする。
4. 延長 7回終了時または規定の試合時間を越えた時点で同点の場合、タイブレーク（無死一・二塁、継続打順）を最大2回行う。それでも同点の場合は抽選で勝敗を決定する。
5. 投球制限 1日100球以内とする。
※100球に達した時点で、その打者の打撃完了まで投球出来る。
6. タイム 監督が一試合で投手のところへ行ける回数、守備側タイムと攻撃側タイムはそれぞれ3回以内とする。
※タイブレークに入った場合は2イニングで、それぞれ1回とする。
7. 適用規則 当該年度の「公認野球規則」および「競技者必携」とする。
※当大会で別途規定する場合は、これを優先する。
8. ベンチ 組み合わせ番号の若いチームが一塁側とする。
9. 先攻・後攻 審判員が立会のもと、主将のジャンケンで決める。
10. 試合前の練習 「大会規定補足」を参照すること。
11. 抗議権 監督および当該プレーヤーのみとし、ルール上のアピールのみとする。
12. 用具 用具類はJSBB公認のモノとし、両耳ヘルメットは8個以上用意すること。
捕手はヘルメット・マスク・プロテクター・レガース、ファウルカップ着用。
※控え捕手はファウルカップは着用しなくても良い。
13. ベンチ入り 試合開始時点及び終了時点で9名以上居ない場合は棄権とみなす。
選手20名以内、監督、コーチ2名、代表者、スコアラーがベンチに入れる。
子供達への給水等に母2名以内もベンチ入りすることが出来る。
14. 代理監督 登録されているコーチが担当出来る。
大会本部に申請し、指定された名札を付けてベンチに入ること。
15. 服装 選手・監督・コーチはチームで統一されたユニホーム等を着用すること。
代表者とスコアラーは指導者らしい服装で入ること。
16. マナーアップ 攻守交代は駆け足で行い、挨拶や用具の整頓等マナーを徹底すること。
17. 暴言・暴力等 指導者による選手及び審判への暴言・暴力的行為を厳禁とする。
相手チームへも同様とし、鳴り物入りの応援は禁止とする。
18. グラウンドルール 各球場にて定め、試合開始前に審判より各監督に説明する。
19. 駐車場 駐車は係員の指示に従い、指定の場所を厳守すること。
なお、球場によっては駐車場が無い場合があるので、事前に確認すること。

江東大会 大会規定補足

1. 試合前の練習

- ※ 試合前の練習に参加できる大人は監督及びコーチのみとする。
- ※ 第一試合の試合前の練習
外野地域で、他のチームの練習に影響を与えない範囲での練習を認める。
また、フリーバッティング以外のバット使用を認める。
- ※ 第二試合以降の試合前練習
試合開始予定時刻の30分前以前にはグラウンドに入れないものとする。
但し、上記は30分間の試合前練習を保証するものではなく、試合進行が遅れている場合は、練習時間が短縮されるものとする。
試合前の練習は、他の試合及び他のチームに影響を与えない範囲で、自チーム側のベンチ側ファウルライン外側で、ファウルラインと平行な方向で行うこと。
素振りや内野ゴロ練習のみバットの使用を認める。

2. 選手・監督・コーチの服装

- ※ ユニホーム・アンダーシャツ・ストッキング・帽子は、同一デザイン、同一色でなければならないが、スポーツ店への注文時期等の理由による多少の違いは認める。
- ※ 背番号の直接刺繍・プリントや布の縫い付け等の、チーム内の混在は認める。
- ※ 上記特例を除き、チーム内で異なるユニホーム等を着用している場合は、試合に出場することは出来ない。
監督及びコーチが出場することが出来なくなった場合、ベンチに監督及びコーチが誰も居なくなった場合は試合放棄とみなし、不戦敗となる。

3. イニング開始前の攻撃側選手の素振り等

- ※ イニング開始前の投手の準備投球中に素振り等が出来る選手は、そのイニングの先頭打者及び次打者のみとする。
先頭打者は自チームのベンチ前、次打者はネクスト・バッターボックスで、準備投球に影響を与えない範囲で行うものとする。